

令和5年第7回定例会

江東区教育委員会会議録

令和5年7月31日（月）

江東区教育委員会

令和5年第7回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和5年7月31日（月）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和5年7月31日（月）午前10時13分
- 3 開会場所 教科書センター（江東区教育センター内）
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、本田和恵（教育長職務代理者）、安部敏啓、鈴木清人、浅野美智子
- 5 出席職員 杉村教育委員会事務局次長、星名庶務課長、西尾学校施設課長、太田整備担当課長、賀来学務課長、飯塚指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、笠間地域教育課長、榎本江東図書館長、関戸深川図書館長

6 報告事項

- (1) 江東区学校施設長寿命化計画の改訂について

7 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和5年第7回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議について傍聴したい旨1名の申出がありました。江東区教育委員会傍聴規則により傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

それでは、本日の会議録署名委員を御指名いたします。鈴木委員、浅野委員にお願いいたします。

それでは、報告事項に入ります。本日は報告事項1件となっております。

報告事項1 江東区学校施設長寿命化計画の改訂についてを説明願います。

学校施設課長。

西尾学校施設課長 それでは、資料1を御覧願います。江東区学校施設長寿命化計画の改訂について御説明をいたします。

まず1番目、改訂の背景・目的についてでございます。中段の円グラフを御覧願います。こちらは、江東区公共施設等総合管理計画より引用しており、公共施設の床面積の類型別の割合をお示ししてございます。このうち、学校教育系施設は半分以上の約58%を占めており、昭和4

0年代から50年代前半に建てられたものが多く、これらを中心に老朽化が進んでいる状況でございます。

そして、学校施設の改修、改築には多額の費用がかかることから、適切な時期に改修を行い、できるだけ長く使用する施設の長寿命化を図っていくために、令和2年3月にこの長寿命化計画を策定いたしました。その後の施設の老朽化の進展や、昨年度、公共施設等総合管理計画の改訂に伴い、この施設の長寿命化をより一層推進するとともに、財政負担の軽減と平準化を実現することを目的としてございます。

次に、2. 計画の位置づけについてでございます。本計画は区の施設の維持管理や更新の基本方針である公共施設等総合管理計画の学校分野の個別施設計画となっております。また、教育推進プランのテーマ3の6、施設の整備・充実を図る計画として、江東区立小中学校の改築・改修の基本的な考え方があり、こちらについては長寿命化計画と一部が重なっております。

2ページを御覧願います。3の計画期間は令和2年度から10年間としており、区の長期計画と合わせて計画期間を設定してございます。

続いて、4. 検討議題と進め方についてです。既に設置をしております検討委員会では、まず1点目、学校施設の劣化状況を更新・反映するということ。2点目、建設コスト増加や建設業の残業規制など社会状況の変化を反映することについて改訂を進めております。

また、下段の図表にお示ししたとおり、現在の教育ニーズやGIGAスクールへの対応、環境配慮や防災面などの学校施設に求められているあるべき姿につきましては、多様な意見を参考にすることから、来年度、別途検討を行っていく予定でございます。

次に、5. 計画の対象施設については、記載の学校及び仮校舎を対象とします。

最後に6番目、改訂のスケジュールにつきましては、検討委員会は全4回開催し、計画案等については今後本委員会にて改めて御報告をする予定でございます。

報告については以上でございます。

本 多 教 育 長 それでは、本件について質疑願います。安部委員。

安 部 委 員 御説明ありがとうございます。

今回のものは結局、既に令和2年3月に出していただいた長寿命化計画、これが今にもう少し合ったように見直そうということなのかなと思うんですけども。そのためのこのスケジュールで第1回目の検討委員会、これですと予定ですけど7月6日となっているんですけど、もし行われていたのであれば、この現状と課題についてということがあったので、御説明いただけないでしょうか。

本 多 教 育 長 学校施設課長。

西尾学校施設課長 現状と課題につきましては、こちら4番目のほうにも出ております。4の検討議題と進め方の1番目の学校施設の劣化状況の更新・反映ということで、一度、現状の各施設の劣化状況の調査をしておりました。ちょっとその策定から年数もたっているということもありまして、その状況の更新でありますとか、そういったところが課題となっております。主にハード面でどうしていくかというところが長寿命化計画の根幹となっておりますので、そういった視点で今課題設定が行われているという状況でございます。以上です。

本 多 教 育 長 安部委員、よろしいですか。安部委員。

安 部 委 員 すいません、もうちょっと具体的に言っていただけるとあれだったんですけど。もともとこの長寿命化計画というのは、別に問題があったわけじゃないんじゃないかなと思っていて、今回これを改訂するにあたって、より長寿命化に資する何かこう、何ていうんですかね、技術の改訂とかそういうのがどんどん出てきて、もっと長く生かせるよと、区の税金もそんなに使わなくて済むようなことを検討しようということかなと思うんですけど。それに対して、その課題が具体的にある、今こういう課題があるというのは特に出てこなかったということでしょうか。

本 多 教 育 長 学校施設課長。

西尾学校施設課長 御質問にお答えいたします。

まず一つに、冒頭で申し上げました区全体の公共施設の総合管理計画、こちらが改訂になったというところがあります。この改訂におきましては、学校教育施設も今後30年間に幾らぐらいかかるかというところが示されておりまして、当然、その中で施設の改修、改築なりをその金額の中で収めていかなきゃいけないというところが大きな課題というところでございます。

あと、長寿命化計画そのものにつきましても、一応5年ごとに見直すこととしておりまして、一定年数もたっていると例えば劣化状況が変わってまいりますので、そうしたところも反映していくという考えで進めております。以上でございます。

本 多 教 育 長 よろしいでしょうか。鈴木委員。

鈴 木 委 員 この長寿命化計画の検討というのはよく分かるんですけども、今言

われているのはやっぱり早急にやるべき箇所というのがあると思うんですが。最近、聞いておりませんが雨漏りが止まらない学校ですとか、水回り・トイレですとか、そういった部分で今教育委員会として把握している学校と件数といいますか、それとその対応、これはどうしていくかお聞きしたいんですが。

本多教育長 学校施設課長。

西尾学校施設課長 各学校施設の状況についてとその対応ということかと思えます。
我々は年度の初め、6月ぐらいに施設点検ということで全学校を回っている状況がございます。もちろん日頃から各学校から修繕等の対応の依頼は受けている状況でございまして、そういったところと我々の施設点検で確認をした上で、必要な修繕、対応等は進めているところでございます。
全部の学校で修繕が必要な状況が生じているということではなくて、数は一定数ありますけれども、その都度、都度で適切に対応はしているという状況がございます。以上でございます。

本多教育長 鈴木委員。

鈴木委員 ちょっと、しつこくて申し訳ない。
その中で都度都度あるんですけれども、これはでも予算立ててすぐやらなきゃいけないというふうな切羽詰まった改修が必要な学校というのは幾つぐらいあるんですか。

本多教育長 学校施設課長。

西尾学校施設課長 その緊急度の度合にもよるかと思えます。もちろん緊急に対応しなければいけないものについては、もう時間を置かずに対応しているという現状があります。数が、全部どういう状況かというのを特に把握をしているわけではないんですが、問題があればすぐに対応するという姿勢で日頃対応している状況でございます。以上でございます。

本多教育長 今、鈴木委員がおっしゃられたように、例えば今年度、何かこう緊急に対応したところがあったかとか、最近のところでは何か修繕を、緊急にこれをやったとかということがあれば、それをお話ししていただければ。
学校施設課長。

西尾学校施設課長 実は先週、火災報知器が誤作動するという事案がありました。これについては、また再度誤作動するおそれもありますので、今、緊急に修繕

対応しているところでございます。もちろんそれ以外にも様々な、先ほど委員がおっしゃいました雨漏りの事象もありますけれども、これは本格的に修繕工事も入らなければいけないという部分もありますので、そうしたところは事前に把握をして、しっかり工事の計画を立てて、日々修繕等の対応は行っている状況でございます。以上でございます。

本多教育長 今回の回答にもありましたけど、基本的には日々の修繕は確実にしながら、これは長寿命化計画なのでその修繕とは別に考えているというスタンスかなと思っています。

鈴木委員、よろしいですか。

鈴木委員 結構です。

本多教育長 ほかはいかがでしょうか。安部委員。

安部委員 度々すいません。

現状でこの計画を見直すみたいの中で、この計画の中に長寿命化判定のフローというのと、もう一つ整備内容の検討フローというのがあるんですけど、この辺もこう手を入れていくような感じになるんですか。

本多教育長 学校施設課長。

西尾学校施設課長 基本的に劣化状況の評価でありますとか構造躯体の健全性の判定につきましては、これは大本は文科省のほうから示されているということがありますので、基本的にこの内容に則って進めるということでございます。状況の年次更新という部分がちょっと強い部分がありますけど、基本的な骨格は変えずにということになります。以上でございます。

安部委員 ありがとうございます。

本多教育長 よろしいでしょうか。ほかはいかがでしょうか。

今、長寿命化計画の報告がございましたけれども、先ほど学校施設課長からもありましたが、学校施設の在り方について、この長寿命化計画の後に（仮称）学校施設の将来ビジョンがありますが、やっぱりそこが重要になってくると私も思っております。

長寿命化については、区の全部の施設の在り方に関わることなので対応していきますが、学校施設としては先ほど施設課長からも説明がありましたGIGAスクールへの対応ですとか、様々世の中が変わってきていますので、今までの教室の在り方であるとか設えですね、それが同じでいいのかということも含めて、この将来ビジョンをこれから検討し

ていくということですので、僕はそこが重要になってくるなというふうに思っています。

それにつきましても、子どもたちを中心に様々校舎の改築計画をしていったり大規模改修もしているところですけども、木質化をうちは進めているところがあって、先般も教育施策の点検評価もしていますが、木質化を進めていることについては高く評価をいただいていたりと、学校からもこれについては、江東区は学校施設を大切にしてくれているということについては評価をいただいているところもありますので、これからも子どもたちを真ん中に据えて、よりよい施設をつくっていきたいと思っております。

それでは、本報告を終了いたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年第7回江東区教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございました。